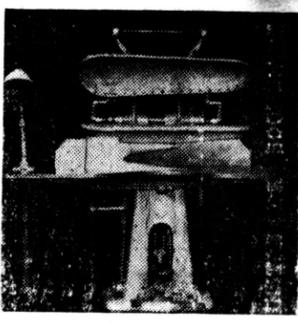


TALLER
MECANICO
de G. GONZALEZ
プラシチナヤ機
カルデーラの
修繕其他
SAN JOSE 220
U. T. 38 - 5923

時計修繕
電話で御一報次第参上致します
市内カビルド街一七七八
電話(五二)〇九三三
守屋利夫
CABILDO 1178
U. T. 52 - 0933

邦人間唯一の
染色工場
設備完全
仕事入念
赤藤染色工場
BELGRANO 3061
U. T. 45 - LORIA 5442



新案
TBP
カルデーラセンター
リファクタエドヨ
のプラシチナヤ機
製造販賣修繕
高橋秀雄
Av. La Plata 1416
U. T. 60 - 9421

自宅出張撮影
複寫引伸し
如何に寫真でも御引受け致す
寫真師 佐藤貞則
SALTA 158
U. T. 37-3704

TOYOKEN
25 DE MAYO 356 U. T. 31 - 0739
東洋軒
料理部
純日本料理
折詰弁当
井物一切種類
畫食
配達致し
相変らず
引立を

Masajista Japonés
SEGUOLA 1992-6
U. T. 67-4591
日本式マツサージ鍼灸
リウマチス、神経痛、呼吸器病
胃腸病その他一切の疾病、幼
日本膏薬は西坂商店でし
取次取ってゐます
山田忠重

GRAN PREMIO EXPOSICION DE LA
INDUSTRIA ARGENTINA 1933-34
BILLARES BRUNSWICK
BANDAS MONARCH
ULTIMA NOVEDAD "SNOOKER"
Solicite informes

Cía. Brunswick Sudamericana S. A.
1894 - CANGALLO - 1900
U. T. 47, Cuyo 3577 - Buenos Aires

MATSUYA HOTEL
TACUARI 580
U. T. 34 - 1344
親切丁寧
顧客本意
浴室完備
まつや旅館
料理化し井物一切
日本菓子製造致す
の会食に應じます

だ井物一品料理仕出し
すし、おぼろ、饅頭賣出し
御婚札御誕生の祝儀
御注大に應じます
松田清市
BOLIVAR 1556
U. T. 23 - 4092

"PLATA BRAUN" MARCA REGISTRADA

カフェエーバー
レストラント用の
メタル製品の
御用命は日本人間
に絶大の信用ある
ZANUSSI
月曜日の御註文に
應じます
BERNARDO BRAUN e HIJO
CORRIENTES 4349 U. T. 54, Darwin 4111

ALMACEN
NISHISAKA
AUSTRALIA 1101
U. T. 21-2915
醬油味噌
澤登香物 御製造販賣
日本食料品輸入販賣
鹿野万蔵
値段勉強配達迅速
西坂實本商店

Ernesto Coco
15 DE NOVIEMBRE 2335
U. T. 23 - 2835
ケロセン廉賣
永年日本人洗濯店
並に御家庭の
御職員を蒙つて居ります

領事館銀行、毎全社と近く
御乗船御下船の便
御下宿
御旅館
地方へ出式の即日は非御立寄願す
昭和館
25 DE MAYO 330
U. T. 31 - 5145
BUENOS AIRES

"KEROGAS"
Ing. F. STUCKLER
U. T. 51-3252 PACHECO 3260
最新型ケマドレックス及び
タンクステア・フレッション
製作販賣
諸種ケマドレックス・部分品
販賣、日本人間にも多数顧客
在りし仕事は入念迅速・電話
で御一報次第至急参上致します

TALLER GRAFICO
NIPPON
SANTIAGO DEL ESTERO 975
U. T. 23 - 7864
刷印版活文西
堂ニポツニ
種各他其、刺名高舞等便
寸寸上敬命用御拘申、少多
穂川北

ソ聯の海軍建設 英と提携・迷夢追ふ

本日は標目

一九三八年一月一日より開始されたソ聯の第三五ヶ年計画下の海軍建設は、過去十年間の小艦艇奇襲主義を基礎として大艦巨砲主義政策に移ったと云はれる。

今日に至るまでソ聯海軍は、旧帝国防人民委員部より海軍を分離せしめ、独立した海軍人民委員部を構成したこと、若き海兵に於ける特殊団体が、大規模なものと見做され、なことを発表し、以外、何ら具体的態度を表面化してゐないから判らぬが、大体今日までのところ、昨年調印された英ソ海軍協定に準據して、その建設計画を進めるものと見てよからう。尤も英ソ協定は、英五五のバリティーに對するもので、最も重大視せねばならぬ極東水面は完全には除外されてゐるので、第三五ヶ年計画下の海軍建設の金銀はこれを知るに困難であるが、当面バルチック海に於てドイツを逐すべく三万五千トンの主力艦二隻、甲級巡洋艦七隻の建造は着手したと云はれる。而して向題の極東水面であるが、これは英ソ協定に於て自申建設と云つて居るから、極東政治

の艦艇資材の欠乏が種々難点があつては、これは英國が躍起してゐるから、國內生産に支拂はれてゐるから、國內生産に合はぬ装甲鉄板、大砲(十六インチ砲)などは米國の供給を頼らなければならない。然るにこの最後の向題に直面して、ソ聯は自己保有の海軍が対日海上作戦の上には、極端な劣勢であること及び省々めわけには行かない状態に陥つた。かゝる反省が際空に次々海軍建設に乗り出さしめたものであろうが、これは英國の極東に於ける利害と偶然的に結びつてゐるのであること、無視し得ない。英國がソ聯との海軍協定に於て極東水面を除外し、何よりも極東水面に於て對英米バリティーを要求し、止まぬ日本海軍を牽制する肚からであつた。だが最近の支那事変下には、於ける英國のソ聯極東海軍増強に期待する所は、従来は倍加されてゐる。もとより英國にとつては、日本海軍の分岐は望む所である。

最近の段階に於けるソ聯極東艦隊の拡充については先づ考へられるのは、四ヶ年調印を見た旧日ソ漁業條約一ヶ年延長と、赤色海軍極東艦隊増強との關係である。従来よりソ聯外交の慣例によると、日独停戦協定の締結に對して、日ソ漁業條約の正式調印を先んじ、おかつたのであるから、之がイタリイにも加へて國際防共條約が拡大し方であつて見れば、新條約の成立困難はもとより、旧條約の一ヶ年延長は當然であらう。然るにソ聯としては、一ヶ年効力延長長拒否の次に來るものが、日本海軍の極東水面に漸行

されるであらう自由出漁であることを見するわけにはゆかない。而して、自由出漁を徹底的に妨害するためには海軍力に劣るとしたことはいふまでもない。

然るにこの最後の向題に直面して、ソ聯は自己保有の海軍が対日海上作戦の上には、極端な劣勢であること及び省々めわけには行かない状態に陥つた。かゝる反省が際空に次々海軍建設に乗り出さしめたものであろうが、これは英國の極東に於ける利害と偶然的に結びつてゐるのであること、無視し得ない。英國がソ聯との海軍協定に於て極東水面を除外し、何よりも極東水面に於て對英米バリティーを要求し、止まぬ日本海軍を牽制する肚からであつた。だが最近の支那事変下には、於ける英國のソ聯極東海軍増強に期待する所は、従来は倍加されてゐる。もとより英國にとつては、日本海軍の分岐は望む所である。

代理店任命御通知

謹啓 愈々秋分之候と相成候各位益々御清祥々御奉大賀候陳者來る五月一日より従来の弊社出張所「加藤源次商店」を閉店し、弊社原本関係の副代理店 T. E. B. POLE 及び新に總代理店に任命致し引続き營業致すことと相成り、小生等は出張員として依然當地に駐在仕可候間何卒借田御引立賜度く乍失礼以紙上及御通知候也 敬白

昭和十三年四月七日

加藤物産株式会社
湯茂忠市郎
上專 武次

總代理店 T. E. B. POLE
ALINA 1146 B.S.A.S.
J. T. MAYO (38) - 544

**日庭俱樂部の
内山公使夫妻歓迎会**

日本産物俱樂部では来る九日(主)午後七時半より同俱樂部ハウスに於て内山公使夫妻の歓迎会を催す、因に會費は三ペンの由である。

日本水産専務

當地の道徳式行はる南水産株式會社の親會社たる日本水産株式會社の専務取締役としてトール漁業の南水産株式會社を新行した日本水産界の功勞

大阪商船の臨時船

大阪商船会社では今回臨時買物船として関東丸を臨時出帆するが、同船は六月十三日横浜出帆、パナマ、アラバ、モンテビデオ等を経て七月三十一日武蔵野着、八月十二日頃当港を出帆する予定である。

ソ聯海軍建設の主要目標が、ける日ソ兩國の對立を最悪の場本を目標とするのであり、かや、面は押し出すものであることうの軍事の器械は、極東に於て止まぬ日本海軍を牽制する

最近の段階に於けるソ聯極東艦隊の拡充については先づ考へられるのは、四ヶ年調印を見た旧日ソ漁業條約一ヶ年延長と、赤色海軍極東艦隊増強との關係である。従来よりソ聯外交の慣例によると、日独停戦協定の締結に對して、日ソ漁業條約の正式調印を先んじ、おかつたのであるから、之がイタリイにも加へて國際防共條約が拡大し方であつて見れば、新條約の成立困難はもとより、旧條約の一ヶ年延長は當然であらう。然るにソ聯としては、一ヶ年効力延長長拒否の次に來るものが、日本海軍の極東水面に漸行

小僧のふゆき録 (五) 星 宇 花

教上の如く観じて来ると矢張り日合は、日合抽特の旗幟を鮮明にして先陣に立ち方々算明次第であり、日合を強化する所以であり、第一日合の総合的便令即ち其の特権と特務とを明かにすることの出来ぬ、且つ団体間の偏頗が衝突関係を醸成することの出来ぬ、換言すれば従来通り軍部日合の主権者として立つこと、そして団体的交渉のある所へは天賦の団体的通告乃至は案内位に互に互に協力することの最と無難な道り方であらう、換言すれば団体間の

連絡を強化 すること、これは日合の団体的支持を強化する事であり、又斯くする事が精進して日合中心の精神を涵養する事である、而して投資合として採るべき公平無私なる態度であること、格と投資選挙に於いて「前後買の用意、然らばれば評議買中から選良を採出」と随に仄々のす様所不正直な宣傳に反して「候補者云々」と同時同一教育権を行使しを配布するの如き公明正大、其の如き行爲に於ける松尾とと換まざる行爲に於

当すべきこと、斯くすること、天下に恥ぢぬ、会館職に就意の現はれ、従つて其の結果会館側からと虚地担、何等の私憤が日合の間に総合的支持を受ける態度と情小ハヤシの、是に斯うした場合に於ける小僧の持論が、強ち小僧の力の主張であり、強ち小僧の立場八日の老練に於ける論に勝りては、心ある者の執心とが是を同じくする、是の仕向がなければならぬ、

対日会館関係症 日合の多敷あるのは事実として、右の人教を以て自然の教に近しいのと云い舞やう、果して然らば此の見地よりすると其の矛盾と不合理的とが露見される所である、免れぬ所、其の如く「団体合同」と云ふ不逞語が何れ、前後買合に依つて作られた事だけは、日合の元々の精神に背する事である(厳く)

公使夫妻懇話会 百三十名の列席者を得たと云ふことは、先づ何れの角度から見ても、僅かに不成功である、全席感と解り切つてある事と裏のことは、實にめだつた勝利である、小僧等の日付住々あるが、此際小僧は、何故か余りの型破りのお世辞であるが、取りな各団体十三名からなる役員会を編成してゐるとすれば、十三名の如く、日合の役員会に役員が即ち、参加して人教、而して日合には三十名の此の評議買がある筈だ、

ACADEMIA DE BAILES SARTITA CANGALLO ~1279~

回教舞十二曲分
初歩用ニペソ、探舞用
一ペソ、毎日午後九時—午後十二時
御講入は午後五時頃迄に御出で
の御方は甚だ都合です。



PROFESORA JARA MUÑOZ

CORNEJO KÜSTER
Medico Cirujano de Hospital Ramos Mejia
AV. DE MAYO 1334, J. PISO D
U.T. 37-2239 (DE 17 A 20 HORAS)

皮膚病 淋病 梅毒 疥癬 痔瘡 婦科 小兒科 外科

カトル印香線香
日本第一番有名な定住の
改取線香カトル印五御便
以下さい、安くく有効です
小売店が御買求の節は
カトル印五御便名下さい
定住大東馬什店

安東商会
市内デネンサ街五三二四。
U.T. 33 (アムニ) 二二九六

書籍・雑誌
新盤レコード
続々到着
藏田書店
市内カセロス街一九八三
U.T. 三三(アムニ)九八三

GRAN DESPENSA "EL LUCHADOR" DE CESAR AUDICIO
G. UGARTE 439 U. T. 808 Lomas
LLAVALLOL F.C.S.
TRA SUCURSAL
MORENO Y 250 DE MAYO U.T. 117 CAÑUELAS
2DA SUCURSAL
ALSINAY ETCHEGOYEN U.T. 66 BURZACO

御知りせ
本会は丘記の事柄を行つて居ります
皆様の御参加御支持を御願ひ致し外
主花秋後、毎週火曜日 (スペイン語講習) (講師山内
エリサ夫人) (向接産部製品頒布) (会費作製男女装束用
品実質販賣) (電話御一報改訂御註文品御送達) (同社交
流館の進行) 第一世、第二世青年男女の健全期期ある社交
相識のため、毎月第三日曜日午後三時より午後九時開放
入と御慮慮所く御来会下さい (由日本船並に日本の風
習に關する講話) 毎週土曜日 (講話の程度は日本人
小学校卒業生及び通學不能の方を目標としてゐます)

以上詳しくは丘記へ御問合下さい
ラシバルトナリモ街一六六三
U.T. 三三(アムニ)七二八四 海外婦人協会支部

モンテビデオ丸
田月十二日入港
全十九日出帆
マニラ丸
四月廿四日入港 全廿九日出帆
ラプラタ丸
九月十日入港 全廿日日出帆

大阪商船

食料品卸小賣
良品原質販賣
神は日本人購買には
大に強要します
湯水(井戸水)用石鹼
としては理想的である
ニハ(CISA)石鹼
一度御試用下さい

ラキリアム・ワン
ツシキペルド商会
代理人
グイセンテ
シリアリエロ

和服 各種販売
優良球根
各種販賣

RIVADAVIA 5871
U. T. 68-5962

日本産敷 建築
文化住宅
家具製造修理其他の御用命を願ふ
大工指物師 山本 玄
Av. del TEJAR 4817
U. T. 741 (Florida) 3150

歯科医療の
御相談に應じます
日本歯科
医学士 山本実雄
應接時間 午前八時-午後十時
市内エントレリオス街九七三
ノ二階 ロ・T・ニ三一・五四二

MEDICINAL
NEWS
28 - Suipacha - 28

。淋病梅毒 治療代は全治後頂きます
。肺結核新療法 月十の便あり
。婦人科。電氣治療科
。X光線科 (各科専門医十名)
診察料三ツ 午前九時-十二時
午後二時-八時
。日曜祭日は午前中

SEMILLERIA
Juan Calé & Cia.

CASA MATRIZ
123 - PUEYREDON - 123
U. T. 47, CUYO 0065 y GUYO 0068
COOP. TEL. 1137, OESTE

Sucursal N.º 1: CORRIENTES 3176
U. T. 62, Mitre 1954-C T. 323, Oeste

Sucursal N.º 2: RIVADAVIA 2425
U. T. 47 Cuyo 8098-C T. 1105, Centr

琉球三味線教授
安里電榮
土曜日午後二時より
初等科
日曜日中等科
U. T. 23, B. Orden 8424
COMPOX 1646

JUGUETERIA
TORRO
SARMIENTO 540
U. T. 34 - Defensa, 1687

東京 国分鉄藏
医学士
左記に於て歯科医療の
御相談に應じます
ドクトルエドアルド・キンアニア歯科医院
市内エドラス街六九二、四階
デパートメント内 電話三三一・三三〇

SASTRERIA "TORRO"
SARMIENTO 654
U. T. 35, Libertad 1392

品買本位
仕立入念
八十五ペペ
より各種
トロー
高等
洋服店

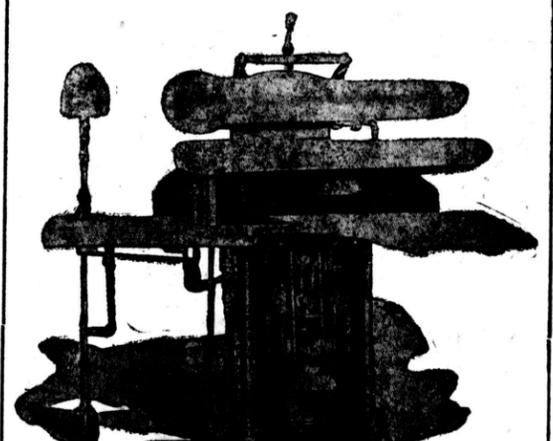
この店着切裁
縫製多の身は
一割引致します

玩具御買求むは
廉價・在庫品豊富の
トロー玩具店で
日本製玩具あり
御申込次第型録送員

Franz y Fritz
DANCING
348 PARANA 350

一階に新設致しました美しい
冬の花園の御披露致します
ワリエテは毎日午後六時半より
小ルンチ附コペティン一ペソ
楽園は有名カナロのオルケスタ
夜の部 西班牙及び各國の藝術の粹を
集めたワリエテを二回開催
百名の麗人ダンサー!!
卅名の藝術家登場!!
日本人のモーションがサーピス致します

式シマフオ奮新
賣安大機ヤチンラフ



SALTA 431
U. T. 38, Mayo 0999

機シマフオ るな飲無全完の古中
すまし致買販てに拂支件條好安格
(可もてに紙手の文本文日は文註御のりよ方地)

ホラン式フランチャイ
並にカルテラの修繕取付
一切廉價に引受けます
ホラン会社
指定機械師 トリビオゴメス
CHACABUCO 896 TELEFONO PARTICULAR
U. T. 34, DEFENSA 1192 U. T. 23, B. ORDEN 4564

御旅館 双葉
和洋食月毎の便に
皆様の御愛顧を願ひます
民崎幸千代
USPATIATA 812
U. T. 23 (B. Orden) 5785

CLINICA MEDICA CANGALLO

CALLE CANGALLO 1542

Atendida personalmente por su Director

Dr. A. GODEL

Médico Cirujano

最新式獨乙療法
 淋病——根治療法
 梅毒——六〇六号九一四号
 婦人病心臓胃腸 各科専門
 肺腎臟神經系統
 ①日本人方には初診無料
 X光線 デアテルミ 血液検査
 診察日 自午前九時 至午後三時
 日曜祭日は午前中

無痛歯抜 ニベソ
 セメント充填五ベソ
 金冠 拾五ベソ
 金入歯 拾五ベソ
 総入歯 六拾五ベソ
 診察時間
 午前九時より
 午後八時まで

DR. E. BULJEVICH

BDO. DE IRIGOYEN 1404
 U. T. 23 - (B. O.) 0279

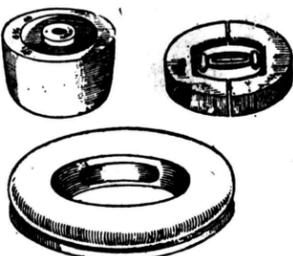
GRAN TALLER "EL ASAHI"

de MIYAZONO Hnos.

Casa Matriz:
 CHARCAS 1873 - U. T. 44, JUNCAL 4366
 Sucursales:
 BME. MITRE 2511 - U. T. 47, CUYO 7159
 RIVADAVIA 5202 - U. T. 60, Caballito 4738
 BUENOS AIRES
 CONSTITUCION 148 - U. T. S. Fernando 46
 SAN FERNANDO, (F. C. C. A.)

LUIS GORI Hnos.

LIMA 1029 U. T. 23-2897



帽子木型製造工場

チントレリアの仕事の
 上り下りは型の善悪
 に依ります。
 仕事を上々にさせる
 には良い型を使はね
 ばなりません。
 弊工場はマテラフラスカ
 デラコラダ、アルカロ
 1本製等流行型あり
 りゆり型を最良の市
 場で供給し、田舎から
 の注文にも應じます。

Doctor Julio Lutzki

A L S I N A 2 4 7 4
 U. T. 47 - 5329

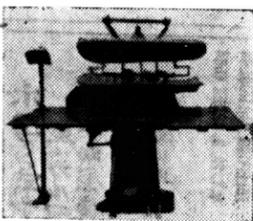
第二心臓肺臓喘息
 療養所
 診察 午後五時 至 八時
 醫師

FRANCISCO SANTERO

EX-MECANICOS Cia. HOFFMAN

Galle DANIEL 1438

U. T. 45-0294



プ
 リ
 ア
 ン
 チ
 ヤ
 機
 造
 販
 賣

CAFE JAPONES

de K. UCHINO

LAS HERAS 667

TUCUMAN



ツクマン市
 内野喜吉

KEROFIX

DEL Sr. ALEMAN (MARTIN)

M. SEITZ & Cia.

Talleres:
 CHARCAS 4511
 U. T. 71-9998

プ
 ラ
 ン
 チ
 ヤ
 機
 カ
 ル
 デ
 ー
 テ
 ル
 の
 ケ
 マ
 ド
 レ
 ス
 デ
 ケ
 ロ
 セ
 ン
 製
 作
 販
 売
 修
 繕
 取
 付
 交
 換
 引
 受
 け
 当
 方
 は
 カ
 ー
 サ
 ボ
 ル
 カ
 ン
 以
 未
 御
 購
 求
 の
 独
 々
 人
 日
 本
 人
 間
 に
 数
 多
 の
 顧
 客
 有
 り
 仕
 事
 は
 入
 念
 速
 電
 話
 で
 御
 一
 報
 次
 年
 至
 急
 参
 上
 致
 し
 ます。

CAFE Y CERVECERIA LA "SATUMA"

有水武ニ
 久松純雄
 竹内武義
 加藤吉隆

General HORNOS 54

U. T. 23 - 0526

BUENOS AIRES

Casa MALIS

DEFENSA 717

U. T. (33) 4382

カ
 フ
 エ
 ー
 店
 純
 務
 用
 衣
 類
 の
 御
 用
 命
 は
 弊
 店
 へ
 サ
 コ
 ナ
 ミ
 コ
 ミ
 ミ
 ン
 黒
 チ
 ヤ
 ト
 ミ
 ミ
 甘
 仙
 黒
 サ
 コ
 ハ
 ベ
 ン
 上
 等
 全
 品
 有
 せ
 ン



GRAN
 MERCERIA
 Y BAZAR

Casa fundada en el año 1923

PRIMERA Y UNICA CASA JAPONESA

Últimas Novedades Para la Moda
 Creaciones en Artículos Japoneses

SE ATIENDEN PEDIDOS TELEFONICOS

優
 良
 品
 廉
 價
 販
 賣
 具
 服
 大
 物
 小
 同
 物
 雜
 貨
 最
 新
 流
 行
 婦
 人
 用
 品
 乃
 び
 御
 家
 庭
 用
 品
 一
 切
 小
 賣
 店
 同
 胞
 限
 り
 割
 別
 保
 險
 事
 務
 切
 公
 認
 代
 理
 人
 林
 甚
 次
 郎

CARLOS PELLEGRINI 1153
 U. T. 41, Plaza 1306



Hoffman

Máquinas Hoffman

BELGRANO 525

U. T. 34 - 1497

BUENOS AIRES

オ
 フ
 マ
 ン
 式
 プ
 ラ
 ン
 チ
 ヤ
 機
 及
 同
 会
 社
 製
 附
 屋
 品
 販
 賣
 店
 は
 武
 市
 に
 於
 て
 は
 当
 店
 一
 軒
 の
 み
 で
 す

TALLER MECANICO A. MENDEZ

CALLE VERA 737 - U. T. DARWIN 1108



カ
 ル
 ホ
 ン
 チ
 ヤ
 又
 は
 カ
 ス
 機
 乾
 燥
 機
 (手
 廻
 し
 又
 は
 モ
 ト
 ー
 ル)
 其
 他
 洗
 濯
 機
 抽
 油
 機
 等
 の
 修
 繕
 引
 受
 け

En el Instituto Cultural Argentino - Japonés

Un acto de homenaje al Ministro del Japón

Con un acto sencillo pero significativo, que tuvo lugar en el local del Museo Social Argentino el martes 5 del corriente, inició sus actividades del año el Instituto Cultural Argentino-Japonés. Coincidiendo con este acto la inauguración de los cursos de idioma japonés que allí se dictan desde hace cuatro años, y en presencia del señor Ministro del Japón y la señora de Uchiyama, especialmente invitados, la institución que preside el almirante don Manuel Domecq García, ha querido dedicar el acto en honor del nuevo ministro, señor Iwataro Uchiyama, quien se ha hecho cargo de la legación en el más próximo pasado.

Ante una sala repleta de damas y caballeros, argentinos y japoneses, abrió el acto el presidente de la Institución, que le dio la bienvenida al representante diplomático del Japón, que es a la vez presidente honorario del mismo, saludándole en su nombre y de todos los asociados.

Agradeció muy especialmente a la señora de Uchiyama por su gentileza en honrar con su presencia.

El Almirante Domecq García, comenzó explicando en breves palabras el motivo del acto, diciendo que, para iniciar los cursos de japonés con que comienza la Institución las tareas del año, ha querido dedicarlo en homenaje al excelentísimo señor ministro del Japón, recientemente llegado, para rendirle un homenaje colectivo de los miembros del mismo.

Recordó los orígenes de las relaciones argentino-japonesas, citando la venta de los cruceros Nishin y Kasuga durante la guerra Ruso-Japonesa, que las autoridades argentinas lo habían hecho con verdadero afecto hacia el Japón. Y dijo que la Argentina apreciaba la gratitud japonesa que para el caso suele citar, para enaltecer la Argentina, los versos del poeta inglés, Shakespeare:

"Friends in need are friends indeed".

Agradeciéndole al Ministro y la gentil presencia de la señora de Uchiyama para quien pidió un apiauso, que fué respondido con calor por todos los presentes, cedió la palabra al representante diplomático del Japón.

El señor Uchiyama, que domina el castellano, leyó con admirable dicción española el siguiente discurso:

"Señor Presidente, señoras y señores.

"Una circunstancia feliz ha querido que mi primera visita al Instituto Cultural Argentino-Japonés coincida con la apertura de los cursos de idioma japonés que se enseña en esta casa.

Las relaciones culturales, entre Japón y la República Argentina, han sido promovidas a un grado altamente satisfactorio, gracias al grupo de caballeros que integran el Instituto y que, por su alta posición personal en el ambiente argentino, han logrado despertar un mayor interés hacia aquel mundo, lejano pero interesante, que es el Extremo Oriente.

Entre esa labor que ha venido desplegando, ninguna más eficaz que la creación de estos cursos de enseñanza del idioma japonés, debido a la feliz iniciativa del ilustre Presidente del Instituto, Almirante don Manuel Domecq García, por cuanto el idioma es el enlace necesario con el alma de un pueblo que permite entrar en su intimidad.

Este grupo de argentinos, que pasan por los cursos, demuestran una buena voluntad e interés hacia las cosas de Japón y este principio de simpatía, al desarrollarse con el conocimiento del idioma les permitiera no sólo apreciar la cultura japonesa, en sus propias fuentes, sino que serán artífices también de la amistad y del entendimiento mutuo de nuestros dos pueblos que, desde el día mismo que iniciaron sus relaciones de amistad parece que hubieran comprendido que, a pesar de la distancia geográfica, su destino era marchar siempre unidos como dos amigos íntimos e inseparables.

Al agradecer esta demostración, y las palabras que ha pronunciado el señor Presidente del Instituto, formuló votos por el éxito creciente del mismo y por la felicidad de todos ustedes".

Acallados los aplausos que siguieron al discurso del señor Ministro Uchiyama, se procedió a la presentación de los profesores, señores Eiji Nomura y Teikichi Okimura, el primero de los cuales habló del entusiasmo que reina entre los alumnos, cuyo número aumenta año tras año. El Sr. Okimura, profesor nuevo de la casa, también pronunció algunas palabras adecuadas a la ocasión.

Terminada la parte principal del acto, se exhibió una colección de vistas fotográficas relacionadas a la vida escolar del Japón, enviadas por la Sociedad Cultural —Kokusai Bunka Shinkokai— de Tokio, y del arte floral del Japón, que fueron muy admiradas.

Anotamos, entre otras, las siguientes personas conocidas:

Entre las damas presentes que hicieron honor a la señora de Uchiyama, vimos a las señoras de Domecq García, de Amadeo, de Gallegos, señoras de Shinya y Casal, etc.

Acompañaron en la Tribuna al almirante Domecq García, quien tuvo a su derecho al ministro del Japón, el contraalmirante Pedro S. Casal, Dr. Garbarini Islas, General Baldrich, Ingeniero Selva, señores Baldassarre Torres, Benavides y Yoshio Shinya.

VIDA ESCOLAR EN EL JAPON

Al pasar por la pantalla las vistas de la vida escolar del Japón, explicó rápidamente algunas de las condiciones de la educación en el Imperio Nipón, el agente de la Kokusai Bunka Shinkokai, señor G. Yoshio Shinya.

Empezó diciendo que el Japón, cuyos habitantes exceden de los 70 millones, cuenta hoy con más de 14 millones de estudiantes. Es un país estudioso. La civilización del Japón, su cultura, su progreso, todos no son sino frutos de su educación.

El país que prácticamente no tiene analfabeto, se ha preocupado y se preocupa siempre por la educación de sus hijos.

Señaló especialmente el desarrollo de la educación femenina y la multiplicidad de escuelas técnicas y especiales que preparan a los jóvenes a la necesidad de la vida industrial y comercial.

La exhibición de vistas escolares del Japón ha sido muy elogiada, especialmente por la numerosa concurrencia de profesores y maestros.

Despertó asimismo mucho interés el anuncio de la próxima organización de curso del arte floral del Japón, del cual dió, a través de algunas muestras, una sucinta explicación.

BAJO LA CRUZ DEL SUR

Ha sido estrenada con éxito en Japón la película cinematográfica de vistas sudamericanas, titulada "Bajo la Cruz del Sur", filmada por el conocido operador técnico nipón que recorrió personalmente las repúblicas sudamericanas el año pasado.

La cinta representa a cada país con abundantes informaciones históricas y geográficas, costumbres y modos de vida, para luego exhibir las vistas panorámicas, actividades industriales y comerciales, manifestaciones culturales y artísticas del pueblo, etc.

La parte relativa a la Argentina está muy bien presentada, mereciendo comentarios especiales muy elogiosos de la prensa de Tokio.

Figuran en la película las hermosas vistas de Buenos Aires, sus avenidas, plazas y monumentos; la inmensa llanura de la Pampa; la maravilla del mundo: la catarata del Iguazú, las costumbres gauchoescas, los bailes típicos, etc., y muestras inequívocas de la grandeza del país.

LA ACCION NIPONA EN EL ORIENTE NO AFECTA A LOS ESTADOS UNIDOS

El señor Owen L. Scott, conocido internacionalista americano, comentando sobre la acción japonesa en el Extremo Oriente, dice que existen ciertos aspectos de la política norteamericana en el Extremo Oriente que siguen suscitando el interés de los círculos oficiales en la capital de la Unión y que tendrán, tarde o temprano, que ser objeto de soluciones definitivas. Por el momento, dice, cabe señalar que una encuesta efectuada entre los senadores y diputados más influyentes ha revelado una inclinación sorprendente hacia la evacuación de todas las fuerzas norteamericanas destacadas en la China.

El Japón es uno de los mejores clientes de los Estados Unidos. Los japoneses compran todos los años un promedio de 300.000.000 de dólares de artículos norteamericanos y venden a la Unión, en cambio, unos 200.000.000 anuales. Además ambos comercios se complementan mutuamente: La Unión compra seda japonesa y el Japón, compra algodón y metales americanos.

Más aún, las inversiones norteamericanas en el Japón son mucho más cuantiosas que en la China y que hay muchos más residentes americanos en el Japón que en China.

Por otra parte, debo añadir que los ingleses han echado fuertes raíces en el sur de China y no podrán ver con buenos ojos la consolidación del poder japonés en China, por no tener suficientes fuerzas navales en el Pacífico. Esto todo parece indicar que desean la ayuda de los Estados Unidos en el Extremo Oriente. En otras palabras aquellas naciones que tienen intereses creados muy superiores a los norteamericanos en China, pretenden que Washington saque las castañas del fuego por ellos.

Incluya un crucero alrededor del mundo en sus próximas vacaciones

•
Cuando vaya usted a Europa, hágalo pasando por el Oriente

•
PASAJES MUY VENTAJOSOS

•
Para informes dirigirse a:

Osaka Shosen Kaisha

Diagonal Roque Sáenz Peña 516. - 2.º piso

H. KATO

Única Fábrica Japonesa de Tejidos de Sedas y Gran Instalación de Tintorería

HERRETA 2097 y 2111 U. T. 21-1641

PAGINA DE ACTUALIDADES

500.000 CHINOS DERROTADOS

TAYUAN, 4. — El ejército chino-comunista en Sheklow, compuesto de 500.000 soldados fué derrotado totalmente, debido a los ataques dirigidos desde los tres puntos de ésta, ocupados anteriormente.

La fortaleza fué ocupada por el ejército sitiado en el mismo día. Una parte de los comunistas huyó a la provincia de Shensi, atravesando el Río Amarillo.

YEN-CHO., 4. — Todas las fuerzas expedicionarias que han intervenido en la ofensiva contra Taischwang han cruzado, sin dar tiempo a los comunistas para rehacerse, las fronteras de la provincia de Kiang-Su.

FUE DESTRUIDO EL AERODROMO DE WU - KIEN

SHANGHAI, 4. — La oficina de informaciones de la marina japonesa comunica que durante el día 3 de Abril, la aviación naval ha bombardeado el aeródromo de Wu-Kien, destruyendo todas las instalaciones aéreas-militares del mismo. Agrega, una nota especial sobre la exactitud de las bombas lanzadas en esta ocasión diciendo que la escuadrilla que realizó este ataque ha obtenido una de las mejoras clasificaciones de la aviación naval japonesa.

EDUCACION EN EL JAPON

Según datos publicados por las autoridades educacionales hay en Japón 45.836 escuelas, invirtiéndose para el sostenimiento de los tres grados de educación 549.667.000 yens.

Prácticamente no hay analfabetos en Japón. El famoso ideal educacional del Emperador Meiji de "que no habrá una familia iletrada en ningún villorrio, ni una iletrada persona en una familia ha sido cumplido.

No hay actualmente en Japón una sola persona que no sepa escribir su nombre ni no sea capaz de leer un diario.

Los principios fundamentales de la educación japonesa, están comprendidos en el famoso rescripto imperial de educación dado por el Meiji Tenno en 1890, para hacer un Japón ideal. Este rescripto que es conocido de memoria por todo muchacho o chica japonesa, es de un alto contenido moral y trata de inspirar no sólo sentimientos nacionalistas sino que trasciende hacia la humanidad, para la mujer el tradicional código exige que se prepare para ser una buena esposa y excelente madre.

LA AYUDA DE RUSIA A LOS CHINOS

NEW YORK, 4. — Según informaciones procedentes de Shanghai publicadas en el "New York Times", los aviones rusos llegados en Lanchow a partir del mes de Octubre del año próximo pasado alcanzan a más de 400, además de los numerosos pilotos y técnicos de la misma nacionalidad. Por el camino que atraviesa Shinkiang han llegado a ésta más de 1.500 tractores cargados de explosivos desde diciembre pasado.

LA CAIDA DE TAI-SCHWANG

YEN-CHOW, 4. — El último baluarte del ejército comunista de la provincia de Shantung, la fortaleza de Taischwang, ha caído en la madrugada de hoy. La resistencia roja ha sido heroica hasta el punto de ser aniquilada totalmente la guar-

nición compuesta de más de 200.000 soldados bien equipados. Después de esta victoria tan decisiva los japoneses marcharon inmediatamente en dirección a Suehow, cuya caída es ya casi un hecho.

PROTESTA JAPONESA ANTE MOSCU

MOSCU, abril 5. — El Embajador Japonés, señor Shigemitsu ha presentado ante el gobierno soviético una enérgica protesta fundada en estas razones:

1.º Dos pilotos derribados en Naukin, el 26 de enero pasado, por una escuadrilla japonesa de rusos comunistas;

2.º Una escuadrilla de aviones rusos fué derribada por la aviación japonesa el día 24 de marzo próximo pasado. En cuya ocasión un piloto ruso que fué hecho prisionero por los japoneses declaró que en el mes de octubre del año pasado, partieron en aviones con rumbo a China decenas de pilotos soviéticos, llegando éstos a Han-Kow, el día 16 de enero del corriente año.

EN LA ASAMBLEA CONSTITUYENTE CHINA

Hong-Kong, abril 5. — La sexta asamblea constituyente del Partido Nacionalista Chino, ha aprobado diversas reformas de carácter democrático como el voto secreto, la representación de las minorías y la representación de los sindicatos en las deliberaciones legislativas.

PARTE OFICIAL

SHANGHAI, abril 5. — La oficina de informaciones de la marina japonesa, dió el siguiente comunicado:

1.º La escuadrilla aérea mandada por el capitán de corbeta Tanamachi, ha destruido el aeródromo de Kiang-Nang. No ha salido al encuentro ningún avión enemigo consiguiendo, por lo tanto, sin dificultad destruir todos los aparatos pertenecientes a este aeródromo.

2.º En las cercanías de Cantón varios trenes que transportaban materiales bélicos fueron bombardeados.

3.º Lishui, fué atacado por una escuadrilla de la aviación naval japonesa que destruyó totalmente su aeródromo sin sufrir la escuadrilla ninguna pérdida.

ENCUESTA PERIODISTICA AMERICANA

NUEVA YORK, abril 4. — "Sutton News Service" ha realizado una encuesta dirigida a más de 500 editores de diarios norteamericanos relativa a las relaciones japonesas-americanas, y ha hecho saber en la fecha el resultado como sigue:

Primera pregunta: ¿Opina usted justo hacer el boycott contra toda clase de mercaderías japo-

nesas? Contestación negativa: 383; afirmativa: 81.

Segunda pregunta: ¿Adheriría usted a un boycott contra mercaderías niponas, limitándolo a los productos manufacturados, Negativa: 323; afirmativa: 141.

Tercera pregunta: Contra productos especiales como la seda japonesa, alcanfor, mentol, etc. Negativa: 452; afirmativa: 41.

Cuarta pregunta: ¿Cree usted que el boycott anti-japonés está organizado sistemáticamente, Negativas: 383; afirmativas: 78.

Quinta pregunta: ¿Considera usted que los Estados Unidos deben inmiscuirse en asuntos asiáticos? Negativa: 383; afirmativas: 78.

Sexta pregunta: ¿Piensa usted que deben hacerse esfuerzos mutuos para el mejoramiento de las buenas relaciones entre el Japón y los Estados Unidos? Afirmativas: 386, negativas, 71.

Séptima pregunta: ¿Cree usted que no existe la comprensión debida en los Estados Unidos sobre el Japón, y que hay necesidad de esa comprensión, para la mejor solución de los diversos asuntos pendientes que tienden a estrechar la amistad entre ambos? Negativas: 220; afirmativas: 157.

QUIEN GOBIERNA EN CHINA

TOKIO, abril 5. — Un diario local con el título de "Quien gobierna en China", dice: Muchos han creído que nuestros asertos sobre la acción del comunismo en China estaba destinado a justificar una acción japonesa en China, no queriendo reconocer como ciertos las persecuciones a los ciudadanos japoneses radicados en ese país y la formación de un sentimiento anti-japonés, destinado a cerrar las fronteras chinas al comercio japonés.

A los que tan ligeramente opinan nosotros contestamos con los hechos. En el frente de batalla, aparecen cañones, aeroplanos, automóviles blindados y toda clase de elementos bélicos de procedencia rusa. Sus instructores son rusos y el estado mayor, lo mismo que todas las unidades están intervenidas por oficiales del ejército ruso, que son quienes en los actuales momentos dirigen política y militarmente a China. A nosotros no nos preocupa esta cooperación y descarada ayuda a uno de los bandos en lucha, sino que hacemos referencia a él para dejar establecido el mito de la no-intervención en China y el desangre inútil que sufre este país para satisfacer las ansias imperialistas de Moscú.

SHANGHAI, abril 5. — El señor Teh, comentarista de asuntos internacionales dice: Cuando hace veinte años, Sun-Yat-Yen, dió el golpe decisivo a la frágil estructura del desmoronado imperio chino, el Partido Nacional sufrió con grandes dificultades con los poderosos señores feudales y jefes provinciales. Años después, el Kremlin ruso olvidando el principio de no intervención en la política interna de otro país, vino en su ayuda, queriendo así soviétizar el Asia, empezando por China, esto ocurría en 1927. Con la ayuda de nombres y dinero ruso, el Partido Nacional consiguió destruir la fuerza de los que se oponían. Fué entonces que Chiang-Kai-Shek, considerándose fuerte, resolvió romper la tutela, logrando expulsar del territorio chino a Borodin y Blucher, encargados de realizar el plan ruso. Esta era la posición del comunismo, hasta el año 1936, en que cayó prisionero de los comunistas, prometiendo, en cambio de su libertad, la guerra al Japón. He ahí la tragedia China, por salvar la vida de un hombre, la flor del pueblo chino, está muriendo en los campos de batalla.

LAMPARAS "YAMADA" DE CALIDAD



Luz Clara - Terminación Prolifera - Selección Especial

USE LAMPARA "YAMADA"

En venta en las buenas casas del ramo

COMERCIO ARGENTINO-JAPONES

Cifras japonesas

La Secretaria Comercial de la Legación del Japón ha dado a la publicidad las siguientes informaciones telegráficas oficiales relacionadas con el intercambio comercial argentino-japonés durante los dos primeros meses del corriente año:

Exportación del Japón para la Argentina: 5.396.371 yens, contra 3.735.673 del año 1937. Importación al Japón de productos argentinos: 4.444.724, contra 6.604.484 yens del año pasado.

EL GENERAL HATA RECHAZO
LAS PROTESTAS BRITANICAS

SHANGHAI, 2. — El general Shunroku Hata rechazó las protestas británicas por las amenazas y descortésias japonesas hacia los súbditos británicos.

El comandante de las fuerzas japonesas del centro de China niega que los soldados japoneses sean culpables de actos ofensivos como los anunciados en su protesta por el general Teifer Smollet, comandante de las fuerzas británicas de Shanghai.

CARACTERISTICAS DEL COMERCIO
JAPONESIMPORTA MATERIAS PRIMAS Y EXPORTA
PRODUCTOS MANUFACTURADOS

He aquí la composición:

IMPORTACIONES (En millones de yens)		1937	1936
Subst. alimenticias	251.—	231.—	
Materias primas brutas	1.995.—	1.738.—	
Id., semi-elaboradas	1.095.—	477.—	
Totalmente manufacturadas	421.—	294.—	
Otros artículos	14.—	14.—	
Re - importaciones	7.—	9.—	
TOTALES	3.784.—	2.763.—	
EXPORTACIONES (En millones de yens)		1937	1936
Subst. alimenticias	248.—	204.—	
Materias brutas	133.—	127.—	
Id., semi-elaboradas	815.—	716.—	
Totalmente manufacturadas	1.900.—	1.563.—	
Otros artículos	36.—	31.—	
Re - exportaciones	43.—	61.—	
TOTALES	3.175.—	2.393.—	

Sastrería Japonesa

Fundada en el año 1916

de S. Katayama

PIEDRAS 572

U. T. 33-5452

¡Beba buen café!

EL CAFE DE SANTOS "AGUILA" está elaborado con los mejores cafés que se importan del Brasil, tostados y con un 10 olo de azúcar abrigillado. ¡Nada más!

Muchos cafés que por ahí se expenden, ¿podrían afirmar otro tanto?

Deduzca Vd. y prefiera el

CAFE DE SANTOS "AGUILA"

ES UN PRODUCTO SAINT.

Mes de Abril, mes del
cerezo en el Japón

Domingo 3 de abril: Un día hermoso brillante y confortablemente fresco, alegre de espíritu, después de un paseo por Palermo, recordándome de la información radiotelefónica de anoche que anunciaba desde Tokio que ya comenaban a brotar las primeras flores de cerezo en Japón, pienso en la graciosa combinación mental de la siguiente composición poética de Nico D. Horiguchi: "Abril: Cerezos del Oriente, Rosales del Occidente". Pues coincide la primavera en Europa con la del Japón, aunque aquí entramos en Otoño, que igualmente es agradable.

El glorioso mes de los cerezos en flor se inicia en Japón, diríase providencia, con la solemne conmemoración del aniversario de la muerte del primer Emperador, Jimmu Tenno, fallecido en el año 585 antes de Cristo, cuya memoria refresea en la mente de los nipones toda la tradición histórica del Imperio, para brindarles luego la estación más amena del año.

Entre las nueve mil especies de plantas florales que cuenta el Japón, en donde nunca faltan flores peculiares en todas las estaciones del año, la que florece en abril, la célebre Sakura-bana, reina de la naturaleza primaveral, llena de alegría al poético y romántico pueblo del Yamato.

El cerezo que crece y abunda en todas las regiones del Japón, cultivado con esmero por su flor, y no por su fruta, comprende de muchas variedades: simples o dobles, blancas y rosadas, y florecen desde fines de marzo en el sur, hasta en mayo en el norte, mientras que en el centro del país están en su apogeo en el mes de abril.

El pueblo nipón que ama la naturaleza, ama a esta flor simbólica para ellos, y celebra con entusiasmo su retorno en cada primavera. Cuando comienzan a abrirse sus pétalos, no se habla de otra cosa. Ricos y pobres, hombres y mujeres, ancianos y niños, todos han de ir a contemplar el radiante panorama que ofrecen los montes, parques, templos u orillas de rios, lugares afamados por la plantación de los cerezos. La vista de la flor de cerezo fascina a los nipones. Y de este modo, rindiendo homenaje a la naturaleza se satisfacen, a la vez, las exigencias de su cultura estética.

Además de la contemplación de la belleza intrínseca de la flor y su fragancia suave que embriaga el sentido delicado de la gente, los japoneses aprecian la tradición que les ha enseñado que la flor de cerezo tiene una cualidad hermosa muy en armonía con el espíritu del Samurai: Esta flor no se marchita jamás en el árbol. Nace, florece gloriosamente y cae valientemente sin dejar restos desagradables a la vista sobre el árbol, que a juicio de los nipones es un rasgo digno de imitarse. La insignia del ejército japonés lleva una flor de cerezo.

Se cita siempre, por eso, el siguiente poema del famoso poeta Motoori, titulado "El Alma del Yamato":

SHIKISHIMA NO
YAMATO GOROKO WO
HITO TOWABA
ASAHI NI NIWO-U
YAMA-ZAKURA-BANA.

Que traducido en prosa castellana, significa:
¡Oh! Shikishima (Islas del Japón)
Por tu alma de Yamato
Alguien buscara
Dí: que mire el Sakura
En flor; posee el secreto.

G. Yoshio Shinya.

Sakura a través de la poesía
Japonesa

SELECCION DEL Dr. GEORGES BONNEAU

(Traducción del francés por la Dra. Violeta G. Shinya)

Ori - toraba
Oshige ni mo aruka
Sakura - bana,
Iza yado karite
Chiru made wa min...

Arrancarte de las ramas
Sería una lástima grande,
Flor de cerezo: Más bien
Tomaré una pensión cerca
De ti, para contemplarte
Hasta el fin...

Sake nakuba
Yoshino no sakura
Taki-gi kana.

Sin el "Sake" ¿qué serían
Los cerezos de Yoshino?
¡Leñas para quemar!

Hitoe zutsu
Hitoe zutsu chire
Yae-zakura...

Pétalo por pétalo,
Pétalo por pétalo, caed,
Cerezos dobles...

Yakusoku no
Ashita mataruru
Hanami kana.

Es cosa prometida:
El día de mañana, tan ansiado,
Flores de cerezo nos iremos a ver.

Hedate naku
Meido no tabi no
Hana-mi-zure.

Sin más disgusto, marchamos,
Compañeros de viaje
Hacia las hadas, a ver
Las flores!

Chireba koso
Honiare mo takaku
Na mo takashi
Chirubeki tokini
Chire, Sakura-bana.

Es con la caída, que te
Glorificas, enalteces tu nombre,
Cuando suene la hora de caer,
¡Cae gloriosa, flor de Sakura!

KOKUSAI BUNKA SHINKOKAI

Sociedad de Fomento de Cultura Internacional

TOKIO - JAPON

Agente en Buenos Aires: G. Yoshio Shinya

Facilita gratuitamente toda clase de informaciones culturales relacionadas con el Japón. Atiende personalmente todos los días hábiles, menos sábados de 16 a 18 horas en la secretaria del Instituto Cultural Argentino-Japonés.

Museo Social Argentino, Viamonte 1436.

EL KIMONO

Por Tsugiharu Fujita

Belleza de la mujer, según se entiende en el Occidente, se basa en el equilibrio de la estructura física, en la composición perfecta de las facciones y en la armonía de las líneas de su cuerpo. El concepto japonés es otro y sus bases son distintas: depende del traje nacional que se considera como parte integrante de la mujer, del porte gracioso de ésta y de la espontaneidad de sus modales.

Su cuerpo, con este traje, es algo misteriosamente oculto, que sólo alcanza a adivinarse por las líneas delatoras de su cuello y de sus muñecas. En tal sentido, el Kimono japonés es algo potencial, pues en tanto que puede hacer que una mujer deigada parezca robusta, puede también hacer que parezca alta a la que no lo es.

Afortunadamente, por cierto, el traje japonés no es susceptible de aventuras excéntricas tan pronunciadas que puedan catalogarse bajo el nombre de modas. Los únicos cambios periódicos a que está sujeto se relacionan con los colores y con los dibujos, siendo éstos de flores, aves, paisajes y hasta de naturaleza muerta, pintados en el Kimono. Tales dibujos son en sí mismos algo digno de

notarse, ya que en ninguna parte del mundo ni mujeres ni hombres han llevado a extremo tan atrevido la decoración de sus trajes.

El color del traje diario del japonés, en la mayor parte de los casos, es oscuro, o bien una suave combinación de blanco y negro. En el traje apropiado para fiestas sociales, el escudo o emblema de la familia que lleva en la espalda y en las mangas, indicando con ello que no debe olvidarse la gratitud y el culto a los antepasados.

Se puede asegurar que el pintoresco traje nacional del Japón no está en peligro de desaparecer, por ser un arma poderosa y un accesorio indispensable para realzar el encanto de la mujer japonesa.

Escuelas Extranjeras en la Argentina

Con motivo de una denuncia del gobernador de La Pampa al Ministerio del Interior, en el cual cita la existencia en el territorio mencionado de escuelas primarias privadas que, bajo el propósito aparente de enseñar idioma y religión, persiguen como finalidad efectiva "mantener vivo en los niños el

espíritu de la nacionalidad de los padres para hacer de ellos verdaderos ciudadanos extranjeros", vuelve la opinión pública, una vez más, a condenar esa actitud de los extranjeros para insistir que debe desaparecer ese espíritu entre los residentes extranjeros de la Argentina.

La Argentina, como todos los países de la América latina espera que los inmigrantes que se radican se asimilen al país y que sus hijos nacidos dentro de su territorio, que son ciudadanos del país, no deben ser inculcados para convertirse en ciudadanos del país de sus mayores.

La lealtad ante todo. Los Argentinos de padres extranjeros deben ser educados e inculcados como buenos argentinos y para servir a la Argentina. Pueden aprender el idioma de sus padres, mantener el cariño de sus mayores por su país de origen, respetándolo y amándolo por el parentesco que los une, pero, desconocer moralmente esa condición, a pesar de los lazos legales, resultarían tan despreciables como aquellos que, por supuesta conveniencia, sin sentirlo realmente, toman la carta de ciudadanía del país, y continúan considerándose súbditos o ciudadanos del país de origen.

La observancia de estas cosas con toda corrección es absolutamente necesaria, para ser fiel con la segunda patria, y para constituirse dignos ciudadanos del país de nacimiento o de adopción.

<p>"NAMBEI" Compañía de Importación y Exportación Sociedad Anónima Telegramas "NAMBEI" U. T. (33) 3001, 3002, 3003, 3004, 3008 y 3571 T. T. Buenos Aires, 904</p>	<p>T. NISHIZAWA Representante de Mitsubishi Shoji Kaisha, Ltda. FLORIDA 229 U. T. 33-5469-2981</p>	<p>F. KANEMATSU y Cía. Ltda. Importaciones y Exportaciones JUJUY 136 - U. T. 45, Loria 5823 y 5824</p>	<p>S. TSUJI Importador BALCARCE 682 - U. T. 33 Avda. 5744</p>
<p>SARMIENTO 470 BUENOS AIRES H. KATO Única Fábrica Japonesa de Tejidos de Sedas y Gran Instalación de Tintorería HERRERA 2097 y 2111 - U. T. 21-1841</p>	<p>S. YAMADA y Cía. Importadores MORENO 2039 U. T. Cuyo, 47-4354 y 4406</p>	<p>PIDA SIEMPRE Marca KANEBO PARA TEJIDOS RIVADAVIA 1210 (4o. piso) U. T. 38-3239</p>	<p>LA MAISON SATUMA K. YOKOHAMA Objetos de Arte y Antigüedades ESMERALDA 1080 - U. T. 31-8601 Sucursal: SUIPACHA 865 - U. T. 31-4837</p>
<p>SADAO HATTORI IMPORTADOR Especialidad en artículos de Cepillería LINIERS 649 - U. T. 45, Loria 321F</p>	<p>IIDA y Cía. Ltda. (Takashimaya) Importadores y Exportadores RODRIGUEZ PEÑA 162 U. T. Mayo 38-3419</p>	<p>M. OMURA Importador de artículos generales del Japón SAN MARTIN 235 - U. T. 38-2083</p>	<p>G. KATO (C. YUASA) Representante de KATO BUSAN KAISHIA Ltd. Av. Roque Sáenz Peña 826 U. T. 35-5696</p>
<p>KATSUDA y Cía. Importadores MEXICO 1474 - U. T. 38, Mayo 2313</p>	<p>R. HARA y Cía. Importadores BELGRANO 1470 U. T. Mayo 38-2438 y 9437</p>	<p>S. ANDO y Cía. Importadores DEFENSA 532-40 U. T. 33 (Av.) 2296</p>	<p>Sastrería JAPONESA Fundada en el año 1916 de S. KATAYAMA PIEDRAS 572 - U. T. 33-5462</p>
<p>B. TAKINAMI Importador Casa Establecida en el año 1905 VICTORIA 733 - U. T. Mayo 38-8413</p>	<p>CARLOS C. ISHIY Importador y Exportador Bm. MITRE 341 - U. T. 33 Avda. 9782</p>	<p>JIRO HONDA y Hno. Importadores de Artículos Generales del Japón MORENO 1320 - U. T. 38 Mayo 2718</p>	<p>GUIA JAPONESA LEGACION DEL JAPON: Reconquista 336. - U. T. 31-3193. CONSULADO DEL JAPON: Reconquista 336. U. T. 31-3193.</p>
<p>I. HIROTA Importador de artículos generales del Japón CHILE 1029 - U. T. 37 (Riv.) 0251</p>	<p>S. YOKOBORI Representante de FUJISAKI y Cía. CANGALLO 499 3er. Piso Escr. N.º 21-22 - U. T. 33-9390</p>	<p>Casa "YAMANAKA" Oriental Fine Art Curious VIAMONTE 624 - U. T. 31 7846</p>	<p>CAMARA DE COMERCIO JAPONESA: Avenida Roque Sáenz Peña 618. - U. T. 33-1452. INSTITUTO CULTURAL ARGENTINO-JAPONES: Viamonte 1435.</p>
<p>N. IKEDA The National City Bank of New York BARTOLOME MITRE 502 U. T. Avenida 33 - 4031</p>	<p>TARO MURAI Única Casa Introdutora de Porcelana "NORITAKE" MAIPU 463 - U. T. Retiro 31-8189</p>	<p>K. YASUNAGA Compañía Argentina, Comercial e Industrial de Pesquería DEFENSA 1597 - U. T. 33-7769</p>	<p>ASOCIACION JAPONESA: Patagones 840. - U. T. 23-4993. COMPAÑIA DE VAPORES O. S. K.: ROQUE S. PEÑA 616 - 2º Piso U. T. 33-1051 - 1052 - 1053 y 9958</p>